2019年9月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月2日

上場会社名　株式会社フィックスターズ　上場取引所　東
コード番号　3687　ＵＲＬ　https://www.fixstars.com/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）三木聡
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　（氏名）堀美奈子　ＴＥＬ　03-6420-0751
四半期報告書提出予定日　2019年8月9日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2019年9月期第3四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年6月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	5,433	47.6	988	34.0	986	31.3	648	20.8
2018年9月期第3四半期	3,682	13.9	737	28.3	751	35.4	536	37.0

（注）包括利益 2019年9月期第3四半期　659百万円（23.3%）　2018年9月期第3四半期　535百万円（27.5%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	19.63	19.60
2018年9月期第3四半期	16.18	16.15

（注）当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、2018年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第3四半期	4,339	3,128	70.6	92.87
2018年9月期	3,607	2,966	81.4	88.44

（参考）自己資本　2019年9月期第3四半期　3,065百万円　2018年9月期　2,935百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	－	0.00	－	7.00	7.00
2019年9月期	－	0.00	－		
2019年9月期（予想）				7.00	7.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,880	30.4	1,226	11.4	1,225	10.0	807	△2.0	24.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、株式会社Fixstars Cloud Solutionsは第2四半期連結会計期間において、株式会社アイ・イー・テックは当第3四半期連結会計期間においてそれぞれ清算結了したため、連結の範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	33,590,000株	2018年9月期	33,575,000株
②　期末自己株式数	2019年9月期3Q	582,710株	2018年9月期	382,710株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	33,044,981株	2018年9月期3Q	33,174,453株

（注）当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、2018年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

（日付の表示変更について）

当第１四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（追加情報） …… 7
（セグメント情報等） …… 7
（重要な後発事象） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産に弱さがみられるものの、雇用・所得環境は改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外経済につきましても、通商問題の動向が世界経済に与える影響や政策に関する不確実性、中国経済の先行き、金融資本市場の変動の影響などに留意する必要があるものの、全体としては緩やかに回復いたしました。

このような経営環境下、当社のソフトウェア開発技術を活用し未来社会の構築に貢献すべく「Speed up your Business」をスローガンに掲げ、お客様の高速処理のパートナー企業として、マルチコアやストレージ関連ソフトウェア開発・高速化サービスを事業の柱とし、併せて関連するミドルウェア及びハードウェアの販売を展開しております。

主力のソフトウェア・サービス事業では、ソフトウェア開発・高速化サービスにおいて、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が長期安定して継続しております。加えて、AIによるソフトウェア開発マネジメントサービスや量子コンピュータに関連する研究開発を行い、SaaS等の新たな収益モデルの確立に取り組んでおります。

当社グループが開発したソフトウェア等が稼働するハードウェア基盤を開発、提供するハードウェア基盤事業では、画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入を中心に、引き続き安定して受注しております。

海外事業では、米国子会社のFixstars Solutions, Inc.が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は、5,433,771千円（前年同期比47.6％増）、営業利益988,461千円（前年同期比34.0％増）、経常利益986,228千円（前年同期比31.3％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益648,572千円（前年同期比20.8％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

（ソフトウェア・サービス）

ヘルスケア、産業機器及び自動運転分野では、高精細・高解像度画像のリアルタイム処理等を実現するソリューションを提供しております。フラッシュストレージ分野では、半導体メーカー向けのファームウェア開発を中心にサービスを提供しております。金融及びHPC分野では、リスク管理等のシミュレーションやHFT（High Frequency Trading）の高速化ソリューションを中心にサービスを提供しております。また、新たな収益モデルの確立を目指し、AIによるソフトウェア開発マネジメントサービスや量子コンピュータに関連する研究開発に取り組んでおります。

この結果、売上高は、3,274,897千円（前年同期比14.8％増）、セグメント利益（営業利益）は、766,057千円（前年同期比10.5％増）となりました。

（ハードウェア基盤）

画像処理プロセッサ搭載演算ボード等の量産納入が長期継続中であり、加えて、画像処理に利用されるストレージ・サーバ等のスポット案件が大きく寄与いたしました。

この結果、売上高は、2,158,873千円（前年同期比160.5％増）、セグメント利益（営業利益）は、222,403千円（前年同期比407.0％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

（総資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて732,422千円増加し、4,339,508千円となりました。これは、電子記録債権が759,972千円増加した一方で、現金及び預金が241,825千円減少したこと等が主な要因であります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて570,701千円増加し、1,211,487千円となりました。これは、買掛金が360,896千円、短期借入金が200,000千円増加した一方で、賞与引当金が33,340千円、未払法人税等が28,311千円減少したこと等が主な要因であります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて161,720千円増加し、3,128,020千円となりました。これは、利益剰余金が416,226千円増加した一方で、自己株式が265,400千円増加したこと等が主な要因であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年９月期の業績予想につきましては、2019年４月24日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年９月30日)	当第３四半期連結会計期間 (2019年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,676,189	1,434,364
売掛金	1,149,990	1,115,449
電子記録債権	374,038	1,134,010
商品及び製品	224	17,696
仕掛品	30,832	44,700
その他	19,818	35,074
流動資産合計	3,251,094	3,781,296
固定資産		
有形固定資産	69,541	65,997
無形固定資産		
その他	15,854	10,092
無形固定資産合計	15,854	10,092
投資その他の資産		
投資有価証券	39,115	79,580
繰延税金資産	77,340	69,521
その他	154,140	333,020
投資その他の資産合計	270,595	482,121
固定資産合計	355,991	558,211
資産合計	3,607,085	4,339,508
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,908	519,804
短期借入金	－	200,000
未払法人税等	182,184	153,873
賞与引当金	68,685	35,345
その他	231,007	302,465
流動負債合計	640,785	1,211,487
負債合計	640,785	1,211,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,868	551,768
資本剰余金	454,125	455,025
利益剰余金	2,203,257	2,619,484
自己株式	△287,056	△552,456
株主資本合計	2,921,195	3,073,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,837	14,221
為替換算調整勘定	△6,552	△22,532
その他の包括利益累計額合計	14,284	△8,311
非支配株主持分	30,819	62,511
純資産合計	2,966,300	3,128,020
負債純資産合計	3,607,085	4,339,508

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2017年10月１日 至　2018年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2018年10月１日 至　2019年６月30日）
売上高	3,682,506	5,433,771
売上原価	2,202,533	3,552,250
売上総利益	1,479,973	1,881,521
販売費及び一般管理費	742,541	893,059
営業利益	737,431	988,461
営業外収益		
受取配当金	1,009	1,113
未払配当金除斥益	426	606
物品売却益	13,207	－
その他	720	296
営業外収益合計	15,363	2,016
営業外費用		
支払利息	1,651	3,590
為替差損	73	－
その他	47	659
営業外費用合計	1,771	4,249
経常利益	751,023	986,228
税金等調整前四半期純利益	751,023	986,228
法人税、住民税及び事業税	196,920	294,110
法人税等調整額	15,967	9,699
法人税等合計	212,887	303,810
四半期純利益	538,136	682,417
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,337	33,845
親会社株主に帰属する四半期純利益	536,799	648,572

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2017年10月１日 至　2018年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2018年10月１日 至　2019年６月30日）
四半期純利益	538,136	682,417
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	519	△6,616
為替換算調整勘定	△3,375	△15,980
その他の包括利益合計	△2,856	△22,596
四半期包括利益	535,279	659,820
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	533,942	625,975
非支配株主に係る四半期包括利益	1,337	33,845

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2018年11月14日開催の取締役会決議に基づき自己株式200,000株を取得しております。この結果、当第３四半期連結累計期間において自己株式が265,400千円増加し、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が552,456千円となっております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号　平成30年２月16日）等を当第１四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2017年10月１日　至　2018年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア・サービス	ハードウェア基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	2,853,727	828,779	3,682,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	2,853,727	828,779	3,682,506
セグメント利益	693,566	43,865	737,431

（注）セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2018年10月１日　至　2019年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア・サービス	ハードウェア基盤	
売上高			
外部顧客への売上高	3,274,897	2,158,873	5,433,771
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	3,274,897	2,158,873	5,433,771
セグメント利益	766,057	222,403	988,461

（注）セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（重要な後発事象）

（子会社の設立）

当社は、2019年８月２日開催の取締役会において子会社の設立を決議いたしました。

①設立の目的

当社は、従来より、当社の高速化技術を活かしたSaaSサービスの立ち上げを目指し、積極的な研究開発活動及び事業化投資を行っております。

このたび、AIによるソフトウェア開発マネジメントサービスであるSleeek事業の更なる事業化の推進を目指し、新たに子会社を設立することといたしました。

②子会社の概要

名称	株式会社スリーク
事業内容	AIによるソフトウェア開発マネジメントサービスの提供
資本金	200百万円
設立年月日	2019年８月８日（予定）
出資比率	当社100％